

科目名	デザイン実習 1 B							年度	2026
英語科目名	Design Course 1B							学期	後期
学科・学年	デザイン科 インテリアデザイン専攻 1年次	必/選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	長沼みか	教員の実務経験		有	実務経験の職種		インテリアデザイナー		
<b>【科目の目的】</b> プレゼンテーションや制作物展示の際に提示する立体または平面デザインスキルを習得すること、自分が制作した作品について明確に説明できるようプレゼンテーションの基礎を養うことを目的とする。									
<b>【科目の概要】</b> 情報が効果的かつ魅力的に見えるデザインの技術とルールについて学ぶ									
<b>【到達目標】</b> A. 技術力/課題内容と表現特性に合わせた制作技術を理解し、実践できるようになる B. 思考・発想力/課題条件に合わせた論理的思考に沿った、効果的な表現ができるようになる C. 企画力/複数のアイデアをもとに、リサーチやデザイン内容の検証ができるようになる D. 遂行力/制作時間と提出期日を考えてスケジュール管理と課題提出ができるようになる E. 社会性/主体的に授業参加をして、自分の作品を言語化し人に説明するコミュニケーション力を身につける									
<b>【授業の注意点】</b> 遅刻、欠席をすると内容についていけない為、理由のない遅刻や欠席は認めない。やむを得ず体調不良等で欠席した場合は、翌日に自発的に資料を教員室まで取りに来ること。授業中メモを取り、わからないことは質問すること。課題は締切厳守。全ての課題を提出で合格とする。授業時数の4分の3以上出席しない者は最終課題の評価を受けることができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	表現特性に合わせた技術を理解し、十分に活用して丁寧に制作している	表現特性に合わせた技術を理解し、丁寧に制作している	表現特性に合わせた技術を理解し、制作している	表現特性に合わせた技術を理解しているが、形として不十分	表現特性に合わせた技術についての理解が不足している				
到達目標 B	課題条件に合わせ、論理的思考に沿った効果的な表現ができる	課題条件に合わせ、論理的思考に沿った表現ができる	課題条件に合わせた思考と表現ができる	課題条件に合わせた思考はしているが表現が不十分	課題条件の理解が不足し、思考と表現が不十分				
到達目標 C	多くのアイデアをもとに、リサーチやデザイン内容の検証ができる	アイデアをもとに、リサーチやデザイン内容の検証ができる	アイデアをもとに、デザイン内容の検証ができる	アイデアをもとに制作はできるが、デザイン内容の検証が不十分	アイデア、デザイン内容の検証が共に不十分				
到達目標 D	制作時間を考えて内容を工夫し、スケジュール管理と課題提出ができる	制作時間と提出期日を考えてスケジュール管理と課題提出ができる	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができる	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない時がある	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない				
到達目標 E	主体的に授業参加し、自分の作品を言語化して丁寧に説明できる	休まず授業参加し、自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができない時がある	自分の作品を言語化して説明することができない				
<b>【教科書】</b> 課題ごとに資料を用意する									
<b>【参考資料】</b> 課題ごとに資料を用意する									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 課題80% 提出された課題を総合的に評価する 平常点20% 授業態度によって評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		デザイン実習 1B			年度	2026
英語表記		Design Course 1B			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス	授業について理解する	1 自己紹介	自己紹介ができる	2	
			2 授業の流れの確認	学習目標を立てることができる		
2	造形について	世の中の空間デザインの事例を学び深く理解する	1 空間デザインについて	空間デザインについて理解する	2	
3	造形課題	課題の理解と空間をアイデアスケッチで提案行う	1 課題説明	課題内容を理解している	2	
			2 デザインスケッチ	アイデアスケッチができる		
			3 素材の理解	スチレンボードの加工方法の理解ができる		
4	造形課題	課題の理解と空間をアイデアスケッチで提案行う	1 デザインスケッチ	アイデアスケッチができる	2	
			2 素材の提案	使用する素材の検討を行う		
5	造形課題	課題の理解と空間をアイデアスケッチで提案行う	1 デザインスケッチ	アイデアスケッチができる	2	
			2 素材の提案	使用する素材の検討を行う		
6	造形課題	アイデアを立体に制作し様々な素材に触れる	1 素材の提案	使用する素材の検討を行う	2	
			2 本番制作	平面のアイデアを立体表現ができる 丁寧に仕上げることができる		
7	造形課題	アイデアを立体に制作し様々な素材に触れる	1 素材の提案	使用する素材の検討を行う	2	
			2 本番制作	平面のアイデアを立体表現ができる		
			3 仕上げ	丁寧に仕上げることができる		
8	造形課題	アイデアを立体に制作し様々な素材に触れる	1 素材の提案	使用する素材の検討を行う	2	
			2 本番制作	平面のアイデアを立体表現ができる		
			3 仕上げ	丁寧に仕上げることができる		
9	造形課題	アイデアを立体に制作し様々な素材に触れる	1 本番制作	平面のアイデアを立体表現ができる	2	
			2 仕上げ	丁寧に仕上げることができる		
10	造形課題	アイデアを立体に制作し様々な素材に触れる	1 本番制作	平面のアイデアを立体表現ができる	2	
			2 仕上げ	丁寧に仕上げることができる		
11	造形課題	アイデアを立体に制作し様々な素材に触れる	1 本番制作	平面のアイデアを立体表現ができる	2	
			2 仕上げ	丁寧に仕上げることができる		
12	造形課題	アイデアを立体に制作し様々な素材に触れる	1 本番制作	平面のアイデアを立体表現ができる	2	
				丁寧に仕上げることができる		
13	造形課題	アイデアを立体に制作し様々な素材に触れる	1 本番制作	平面のアイデアを立体表現ができる	2	
			2 仕上げ	丁寧に仕上げることができる		
14	プレゼンテーション	制作の意図や造形の発表	1 プレゼンテーション	自分の作品を説明できる	2	
			2 提出	期限内に提出する		
15	授業のまとめ	授業のふりかえり	1 授業内容まとめ	授業を振り返り要点をまとめることができる	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等